



みやかん



冬の福浦橋

写真提供：宮城県観光戦略課

主な記事

新年のご挨拶

令和7年宮管新年祝賀会を開催

水と空気の未来を創造する



INFORMATION

Quality, Safety & Originality

水道配水用ポリエチレン管に!

ボルト締めでも EF接合でも サドル付分水栓

鋳鉄サドル付分水栓
(ボルト締め)



EFサドル付分水栓
S2型
(EF接合)



メカ接合でも EF接合でも 継手類



変換ソケット
(ISO-JIS)

そのままEF接合が可能 プレインゲート



EF変換ソケット
(回転止水栓用)



〈PE挿し口付〉

※挿し口付プレインゲート及び継手類は、呼び径50となります。



おねじ付融着継手
(回転型)

 前澤給装工業株式会社

<https://www.qso.co.jp/>



各販売拠点
はこちら

〒152-8510 東京都目黒区鷹番二丁目14番4号 Tel.(03)3716-1511(代表)

今月の表紙

冬の福浦橋（宮城県松島町）

252mの朱塗りの橋「福浦橋」は、素敵な出会いが訪れる「出会い橋」と言われています。橋を渡るとその先には、県立自然公園「福浦島」があります。

表紙写真提供
宮城県観光戦略課

目次

- ・新年のご挨拶
 - 宮城県管工業協同組合 役員一同…………… P 1
 - 宮城県管工業協同組合理事長 井上 環…………… P 2
 - 宮城県知事 村井 嘉浩…………… P 3
 - 仙台市長 郡 和子…………… P 4
 - 仙台市水道事業管理者 加藤 邦治…………… P 5
 - 宮城県中小企業団体中央会会長 佐藤勘三郎…………… P 6
 - 宮城県建設産業団体連合会会長 千葉 嘉春…………… P 7
- ・令和7年宮管新年祝賀会を開催…………… P 8
- ・仙台市水道事業管理者へ陳情…………… P 9
- ・令和6年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催…………… P 10
- ・上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会を開催…………… P 12
- ・青下の杜プロジェクト「鳥の巣箱設置等」・「花植え体験」に参加…………… P 13
- ・令和6年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催…………… P 14
- ・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催…………… P 15
- ・「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催…………… P 16
- ・令和6年度給水装置工事配管技能検定会開催…………… P 17
- ・令和6年度宮管親善ボウリング大会を開催…………… P 18
- ・第52回仙台市技能功労者表彰を受賞…………… P 20
- ・「みやぎの建設技能グランプリ」功労者表彰を受賞…………… P 21
- ・社会保険労務士からの目…………… P 22
- ・青年部コーナー…………… P 25
- ・我が社のおすすめ品！…………… P 28
- ・役員ノート
 - (株)仙塩管工事センター 大浦 明…………… P 30
- ・組合のうごき…………… P 31
- ・組合員のうごき…………… P 34
- ・理事（役員）会報告…………… P 35
- ・投稿
 - (有)共立設備 出野 正弘…………… P 39
- ・編集歳時記
 - (株)いづみ衛生施設工業 石川 渡…………… P 40

○裏表紙広告「前澤給装工業(株)」

「Mr.みやかんのこれ知ってる?」「国税だより」「健康だより」「仙台地名の由来」「ことわざ・漢字コーナー」は、誌面の都合により休ませていただきます。

ITのお困りごと **DX化** **PC** **人手不足**
情報セキュリティ **ホームページ**

バルテックにご相談ください!



MOT/Phone

スマートフォン、事業所間を内線化。外出先でも離れた拠点同士の通話が無料に。設備導入の手間、配線工事が不要になるクラウド電話です。

業界最安値 ¥	番号そのまま →	スマホ会社発番 03	公私切り分け 030 03
通話コスト削減 ↓	配線工事不要 ✗	既存FAXと接続 📄	拡張オプション 📞

MOT / WEB請求書

煩雑になりがちな、請求書の履歴管理、昨今のリモートワークの普及に伴う押印リスクや、印刷費や郵送費の経費削減に改善につなげるシステムです。

請求書データを集約 管理が大変な請求書をシステムに集約し管理	印刷・郵送が不要 大量の書類の印刷郵送の費用が不要	押印が不要 請求書の押印もシステム上で完結	切手代 84円/1枚 印刷代 用紙代 印刷代 切手代 110円/1枚 印刷代 用紙代 印刷代 MOT/WEB請求書で郵送コストが0円!
--	-------------------------------------	---------------------------------	--

~2024年9月 2024年10月~ MOT/WEB請求書



株式会社バルテックジャパン 東北支店

〒980-0014
仙台市青葉区本町2丁目10-23 仙台いちょう坂ハルヤマビル1F

お問い合わせはこちら
022-216-5411

新年のご挨拶



宮城県管工業協同組合
理事長 井上 環

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

また常日頃より、当組合の事業運営に関しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新たな年を迎え、私たち宮城県管工業協同組合は、これからも地域社会の安全と安心を支えるために邁進して参る所存でございます。

昨年、石川県の能登半島を襲った大きな地震は、私たちにとっても大きな衝撃でした。自然災害の前では、どれだけの準備をしても完全に備えることは難しいという現実を再認識させられました。しかし、だからこそ、私たち管工事業界の役割は重要だと感じております。水と空気というインフラの復旧を迅速に行うことが、地域社会の命と生活を守ることに直結するからであります。

ご承知のとおり、昨今の社会情勢は急激に変化しています。地震や台風などの自然災害が頻発し、また環境問題やエネルギー問題が日々深刻度を増しております。その中で、私たち管工事業界も新しい技術や設備を取り入れて変化に対応し続ける必要があります。現在、災害に強いライフラインの構築や省エネルギー化を促進する設備の導入等が求められています。私たちは、これらの変化に対応し、地域社会に貢献するための努力は惜しみません。特に、「命の水」を供給するという使命感を持って水道インフラを維持、更新し続けることが私たちにとっての最大の責任であり、誇りであります。

「一期一会」という言葉がありますが、お客様一人ひとりとの出会いを大切に、常に誠実に対応していくことが信頼を築く礎となります。そして、変化を恐れず、常に学び、成長し続けることが大切なのではないでしょうか。変化は時に困難を伴いますが、それを乗り越えることで、より良い社会が実現できると信じております。

「幸せの命の水」と表現されるように、水は生命の源であり、幸福な生活を支えるための重要な要素であります。水の安全な供給が、健康で安定した生活を支えています。今後も信頼性の高い安定したサービスの提供に、より一層努力して参りますので、引き続きご鞭撻下さるよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、私たちの取り組みが、少しでも地域の皆様に安心と幸福をもたらすことに繋がればと願い、組合員企業の益々のご発展と皆様方のご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

変革と発展を目指して



宮城県知事

村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックにおいて本県ゆかりの選手が世界の強豪を相手に銀メダル3個、銅メダル1個を獲得する素晴らしい活躍をされ、私たち県民に勇気と感動を与えてくれました。

一方で、夏には記録的な大雨や台風が続き、東北地方においても河川の氾濫や土砂災害が発生するなど、甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

さて、本県は被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポートに加え、人口減少や少子高齢化、大規模化・多様化する自然災害への備え、依然として続く物価高騰への対応など、多くの課題に直面しております。こうした課題に対応し、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現に向け、県民一人一人が幸福を実感し、地域の活力を維持しながら持続的な発展を目指していくために、今年はこの3点を重点的に取り組んでまいります。

1つ目は「人口減少対策」です。結婚や妊娠、子育てを望む人が安心して子どもを産み育てられるよう、子ども・子育てを社会全体で支える環境整備を進めてまいります。また、多くの若者が県内に定着できるよう、質の高い雇用の創出や県内就職の促進等を図るとともに、県内企業と外国人材のマッチング支援等を推進し、外国人の確保・定着に取り組んでまいります。

2つ目は「DX（デジタル・トランスフォーメーション）による変革みやぎの実現」です。あらゆる分野でデジタル技術をフル活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化、働き方改革の推進を図ってまいります。特に、県民サービス向上のため、デジタル身分証アプリを活用し、災害時と日常時の両方で利便性の高い県民アプリとしての普及拡大を、市町村と連携して進めてまいります。

3つ目は「半導体をはじめとする成長産業の誘致・育成」です。半導体は、脱炭素や省電力、デジタル社会の実現など、様々な社会的問題の解決に不可欠な技術であり、今後も関連市場の成長や経済波及効果が期待される重要な産業です。このため、ものづくり人材の育成や取引創出等を推進しながら、関連産業の誘致・集積に力を入れてまいります。

宮城の新時代を切り開くという強い思いで、全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶



仙台市長
郡 和子

明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、市民の健康と生命を守る重要なインフラである上下水道の安定的な維持管理・事業運営のため、日頃よりご尽力を頂戴しておりますことに、心より感謝を申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震の発生や、南海トラフ地震臨時情報の発表などをはじめとした、自然災害の脅威を改めて感じさせられる1年でした。本市といたしましても、日頃からの災害への備えに万全を期す必要があるものと認識しております。一方では、新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年以上が経過し、全国的に大規模なイベントや会合がより盛大に開催され、観光資源の創出や交流人口の拡大に弾みがかかり、社会全体として活気が溢れる1年でもありました。

本市におきましては、6月8日・9日の2日間に亘り、「東北絆まつり2024仙台」を開催いたしました。東日本大震災をルーツとするこのイベントは、前身の東北六魂祭から数えると三巡目の開催となり、この2日間で市内外から57万2千人もの方々にご来場いただきました。東北を代表する6つの夏祭りを通じて、東北地方の魅力を最大限にPRできたものと実感しております。加えて本年は、大阪で開催される関西万博にて、東北絆まつりパレードを披露することとしておりまして、会場に訪れた世界各国の皆様にご覧いただき、東日本大震災の際の支援に対する感謝や復興、そしてその先の未来へ向かう東北の姿を発信してまいります。

また、11月9日から11日にかけては、「観光レジリエンスサミット」が開催され、観光分野の強靱性(レジリエンス)をテーマとした閣僚級会合が行われました。本サミットでは、各国の議論を踏まえ、観光レジリエンスの向上に向けた今後の取組みの方向性をまとめた共同声明が「仙台声明」として取りまとめられました。この声明を踏まえ、今後本市としても観光レジリエンスについて一層の取組みを推進するとともに、その重要性を国内外に発信してまいりたいと考えております。

本年におきましても、観光施策を通じて「杜の都・仙台」ならではの魅力発信を図るとともに、グローバルな視野で事業を展開するなど、交流人口の拡大や地域経済の活性化へ繋げてまいります。また、本市の基本計画に掲げている「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」の実現に向けまして、多くの市民・事業者の皆様との協働によるまちづくりを進めていくとともに、社会環境の変化に対してしなやかに対応していくなど、世界から選ばれる都市を目指し、引き続き各種施策に着実に取り組んでまいります。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、上下水道をはじめ、仙台市政の万般に亘りまして、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして実り多きものとなりますよう、心よりご祈念を申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



仙台市水道事業管理者
加藤 邦治

新年、明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中におきましても、本市水道の持続的かつ安定的な事業運営に多大なるお力添えを賜りましたことに、この紙面をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

昨年1月1日に発生した能登半島地震から、早いもので1年が経過しました。この地震は、現地の水道施設に甚大な被害をもたらし、石川県を中心とした広範囲において断水が発生しました。発災後から5月にかけて、仙台市水道局では被害を受けた新潟県・石川県へ延べ100名を超える職員を派遣し、復旧・復興の支援を行うとともに、石川県かほく市へ長期の職員派遣を行ってまいりました。この応援活動におきましては、多くの貴組合員の皆様にもご同行いただき、被災地での修繕・工事など、懸命な復旧作業にご尽力をいただきました。その対応の迅速さと強い使命感に感服するとともに、非常に心強く感じたところでございます。

この地震をはじめ、昨今の自然災害の脅威は留まることを知らず、災害発生時には、市民の暮らしと生業に必要な不可欠である「水道」の重要性が改めて認識されることとなります。私ども水道事業者は、「安全で良質な水道水を安定的にお客様へお届けする」という使命のもと、その安定給水を維持する必要がありますが、いつ・どこで発生するか分からない自然災害に対しては、より充実した災害対応体制の構築が必要であると実感しております。その一環として、他の水道事業者や民間事業者の皆様との合同訓練・意見交換などを通じた連携強化を図ることは大変肝要であり、昨年6月には、貴組合と合同で応急給水訓練や応急復旧訓練などを実施したところでございます。今後とも平時・有事を問わず、より連携を深めさせていただきたいと考えております。

さて、本市水道事業におきましては、拡張期に整備した多くの水道施設・管路の老朽化が進み、これらの更新を確実にするための財源やマンパワーの確保が課題となっております。一方で、平成9年度をピークに水需要が減少傾向にあり、給水人口も間もなく減少に転じることで、料金収入の低迷が見込まれていること、また、事業運営の根幹を支えてきた知識・経験ともに豊富なベテラン職員が相次いで退職時期を迎えることで、技術継承・人材育成といった課題が生じております。

このような経営課題に直面している中、本年3月には、現行計画に続く「仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）」を策定することとしております。次期計画におきましても、本市水道事業が直面している課題のほか、近年急速に変化を遂げている社会環境も踏まえながら、実効性のある計画を策定し、「仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）」に掲げる基本理念「未来へつなぐ杜の都の水の道～市民・事業者との協働～」のもと、将来にわたる持続可能な経営の実現に向けて各般の事業を進めてまいります。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに、益々のご発展・ご隆盛を遂げられますよう衷心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

新年のご挨拶



宮城県中小企業団体中央会

会長 佐藤 勘三郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が変わってから1年半余が経過し、社会環境も日常に戻った状況ですが、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、エネルギーや原材料価格の高騰や賃金の引上げ、コスト上昇分の価格転嫁、深刻化する人手不足や社会的な要請でもある環境規制への対応など諸問題が山積している状況です。

一方で、中小企業者の皆様には生産性向上のための省力化設備投資、従業員へのリスクリング、DX化を含めたデジタル活用に加えて、BCPの策定・運用、事業承継・事業引継ぎなどに積極的に着手し、挑戦していくことが必要不可欠であり、今や待ったなしの状況にあります。

国内外に於いて政治が揺らぎを見せ、変化が目まぐるしい情勢の中、機動性のある個々の企業自らの経営努力が一層重要となってまいります。経営資源の不足等を補完、克服してより価値を高めていくためには、協同組合といったインフラを積極的に活用し、個々の経営力強化に繋げていく取り組みが今以上に重要なものになってくるものと考えております。

このような状況の中で貴組合におかれましては災害などの有事の際に従業員の安全を確保し、損害を最小限に抑えるため重要な業務の継続を図るために「BCP（事業継続計画）」の策定にも積極的に取り組み、益々その組織力・業務体制を強固なものにされました。「命の水」を取り扱う強い使命感の下、「管」という社会の“ライフライン”の守り手として、その機能が保たれるよう維持・管理に絶え間なく努め、県民の皆様の快適な生活にご貢献いただいていることに改めて敬意を表します。

本会といたしましては、先の全国大会に於いて決議された各要望項目の実現に向け今後とも全国中小企業団体中央会とも歩調を合わせた活動を展開するとともに、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、引き続き行政、関連支援機関と連携し、皆様が抱える経営課題の克服に向けた取り組みへの支援等について、これまで以上にお役に立てるよう全力で努力を続けてまいります。

今年の干支である「巳」については冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という謂れがございます。

本年が皆様にとって力を蓄えていたものが芽を出す「起点」となり更なる発展の年になりますことをご祈念申し上げますとともに、引き続き本会へのご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



宮城県建設産業団体連合会

会長 千葉嘉春

新年明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様方には、お健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は元日から令和6年能登半島地震が発生、地震・火災、さらには津波や地盤沈下等の複合災害により甚大な被害となりました。今なお復旧・復興に向けた事業が進められておりますが、宮城県からも貴組合員等も含め多くの建設関係者が災害支援に出動したところであります。また、地球温暖化の影響と考えられる頻発化・激甚化する自然災害が全国各地でとどまるところを知らず、線状降水帯等による全国各地での河川の氾濫や土砂災害等による甚大な被害発生時においては、その都度、地域建設産業が事前のパトロール作業から、応急・復旧対応などに真っ先に駆けつけ尽力するなど、地域の安全・安心で快適な暮らしを支える「地域の守り手」としての重要な役割と責任を担っていることから、将来にわたって必要不可欠の産業であることを再認識しているところであります。

産業間・企業間による熾烈な人材獲得競争が繰り広げられている中で、他産業と比べても高齢化の進展が著しく進行している建設産業における将来の担い手の確保が大きな課題であります。

そのような環境下、時間外労働の罰則付き上限規制が適用となり、新しい働き方・暮らし方ができる産業として多様な人材の雇用の受け皿となるべく、各種施策が急速に展開されており、現場施工においても生産性向上へのDX・GXの推進等の普及拡大に向けた動きが進められておりますが、建設現場においては1日の実作業時間が圧縮されること、天候不良や地球沸騰化による作業不能日が生ずることなどから、これらを踏まえた適正な工期設定や施工歩掛り、実情に見合った割増補正などによって、建設現場で働く方々の年取ベースでの魅力ある賃金確保が求められております。

現在、中央建設業審議会においては、改正建設業法に基づいた建設工事の請負契約に係る新たなルールの導入として、適正な水準の労務費が公共・民間工事に関わらず、すべての段階において確保され、技能労働者の賃金として行き渡ることを目的とした「労務費の基準（標準労務単価）」を本年11月ごろまでに作成・勧告することとされていることから、処遇改善に向けて大きな期待を寄せているところでもあり、当建産連と致しましても、建設業のあらたな3K（給与が良く・休日が取れ・希望が持てる産業）に「カッコイイ」を加えた「新4K」を掲げ、やりがいや誇りと魅力ある産業づくりに向け真摯に取り組んで参る所存であります。

人々の生活が続く限り存続し重要な役割を果たすのが建設産業であり、「命の水」を安定的に供給する重要な生活基盤を支える貴組合員の責務は非常に重要であることから、しっかりと将来の担い手を確保し、生涯を託せる産業づくりに貴組合とも連携し一体となって進めて参りたいと存じます。

最後になりますが、貴組合並びに組合員皆様がさらに飛躍発展されますことを心から念願し新春のあいさつといたします。

令和7年宮管新年祝賀会を開催



井上理事長

1月20日(月)、仙台市青葉区の江陽グランドホテルにおいて、新年祝賀会を開催したところ、来賓及び組合員等160名が出席した。

祝賀会は、午後5時30分に千葉事務局長の司会で開会し、はじめに井上理事長から「社会が変動する中で、現実を見据えて次世代への道を切り開くためには、既存の価値観を見直し、官民が共に議論し行動することが重要と考えている。水と空気のライフラインを支えていくことは私たちの責務であり、若者に希望を与え、明るい未来を創造するために、皆様と一緒に行動を起こして参りたいので、今後ともご指導とご鞭撻をお願いしたい」と挨拶があった。



村井宮城県知事



高橋仙台市副市長



東北地方整備局沖川建政部長



加藤水道事業管理者

続いて、村井嘉浩宮城県知事から、「貴組合、そして組合員の皆様には、能登半島地震における緊急復旧班の派遣、工業高校への講師派遣等、様々な面でサポートしていただいている。管工事業は身体に例えるなら血管であり、なくてはならない仕事である。県も皆様方の仕事が永続的につながるよう協力を惜しまないことを約束する」、仙台市長（代理：高橋新悦副市長）から「109万市民のライフラインを支える維持管理に多大なるお力添えをいただき感謝申し上げます。仙台市においては管路の老朽化、技術継承や人手不足等の困難な課題に直面しているが、貴組合と共に取り組んで参りたい」、国土交通省東北地方整備局長（代理：沖川弘毅建政部長）から「東日本大震災から間もなく14年になるが、皆様方の献身的な尽力により、復興事業を着実に進められたことに感謝申し上げます。昨年の通常国会で第3次担い手3法が成立した。東北地方整備局としても、建設業が他の産業に負けない魅力的な産業となるよう、皆様と連携を図りながら汗をかいて参りたい」と祝辞を頂戴し、加藤邦治仙台市水道事業管理者の乾杯の発声で開宴した。

また、高橋伸二宮城県議会議長と仙台市議会議長（代理：鈴木広康副議長）からもお祝いの言葉をいただいた。

出席者は、新年の挨拶を交わして、親しく歓談し、午後7時に菅原副理事長の中締めで盛会のうちにお開きとなった。



新年祝賀会の様子

仙台市水道事業管理者へ陳情

10月15日(火)、仙台市太白区の仙台市水道局大野田庁舎4階の第一応接室において、当組合と仙台市配水管工事業協会の両団体は、仙台市水道事業管理者に対して連名で、来年度事業に向けた陳情を行い、4項目について要望した。

なお、仙台市水道局の出席者、両団体からの陳情者及び陳情項目は次のとおり。



井上理事長（左）と加藤管理者

－陳情会出席者－〔順不同・敬称略〕

仙台市水道局：加藤水道事業管理者・下山田次長

佐藤次長・鈴木総務部長・宮野給水部長・渡部浄水部長・千葉参事兼危機管理室長

脇田総務課長・林財務課長・千枝計画課長・佐藤参事兼管路整備課長

宮城県管工業協同組合：井上理事長・菅原副理事長・吉田専務理事・堀理事

仙台市配水管工事業協会：渡辺(毅)会長・大浦副会長・渡辺(啓)副会長

－陳情項目－

1. 予算と事業量の確保について

(1) 配水管整備事業に対する一層積極的な予算化をお願い致します。

(2) 官管の組合員企業と水工会会員企業が健全経営を維持できるよう、引き続き安定的な事業量の確保と地元専門工事業業者への優先発注にご配慮願います。

2. 週休2日制工事の導入拡大について

ご当局におかれましては、令和4年度から週休2日モデル工事の試行を開始され、それに伴う経費の補正にもご配慮いただいておりますが、慢性的な長時間労働を是正し、休日を確保することで若年労働者の入職確保と担い手の定着を図るため、配水管工事について週休2日制を前提とした工事発注案件の順次拡大と、実態を反映した経費補正率への見直しをお願い致します。

3. 熱中症対策について

厚生労働省が提唱する熱中症対策として、暑熱順化した作業員が暑さ指数(WBGT)基準値25℃の状況下で作業する場合、休憩時間を1時間あたり15分以上(1℃超過毎に15分付加・4℃超過で作業中止)とすることが望ましいとされております。

ご当局におかれましては、熱中症対策の経費として、現場管理費の補正を試行していただいておりますが、真夏日や猛暑日に、作業員の安全確保を図るために作業を一時中断して休憩あるいは休止し、その結果、1日の実作業時間が短くなり、作業効率と施工量が著しく低下する状況が発生しております。

つきましては、熱中症対策としての休憩時間確保あるいは作業休止に対して、現場管理費の補正率見直しをお願い致します。

4. 防災訓練の継続的な実施等について

本年6月12日(市民防災の日)に、ご当局のご理解とご協力によりまして、当組合員を対象とした防災訓練を実施させていただき、お陰様で当日は多くの組合員が参加して、ご当局と合同で情報伝達訓練、応急給水訓練、配水管の応急復旧(水管橋の緊急点検)訓練を行ったことで、有事の際には当組合が仙台市の水道ライフラインを守る役割を担っているということを組合員が再認識する機会となりました。

つきましては、有事に対する体制確保と備えの強化を図るため、次年度以降も水道に特化した合同防災訓練を継続的に実施させていただきたく、特段のご配慮をお願い致します。

また、今後の災害に備え、先の能登半島地震における被災地応急復旧応援活動の経験を教訓とした復旧応援活動の在り方等について、情報を共有する意見交換の機会をご検討下さるようお願い致します。

令和6年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催

この地区連絡会制度は、昭和51年に組合員からの要望によって発足し、情報交換、話題の提供、組合や関係機関等に対する質問及び要望事項等、日頃の諸課題について地区毎に少人数で組合執行部と会員とが意見を交換し、相互の意志疎通を図る絶好の場となっている。

各会議とも、井上理事長の挨拶に続き、小川常務理事から令和6年度上半期共同事業の実績報告があり、下期も特段のご協力を賜りたい旨が要望された。次に、千葉事務局長から「災害時における水道施設復旧等応援活動に対する要綱」の一部改正について説明があり、役員改選に伴う本部員名簿の一部変更と、地区連絡会ブロック別会員名簿を10月1日付けで更新した旨が伝えられた。続いて、堀理事から組合BCPの更新について内線番号が最新版となったため、当該資料を既存の赤ファイルに追加して綴じてほしい旨と、水道管布設工事の諸経费率算定基準変更について、令和6年4月から諸経費の算定根拠が宮城県の土木工事標準積算基準書から、国土交通省の水道施設整備費に係わる歩掛表へと変更となった旨が伝えられた。

また、事前にブロック会員から提出された議題は、後日開催予定の4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・当組合）意見交換会の議題にする旨が説明されるとともに、会員から率直な意見が出される貴重な機会となった。

会議終了後には、それぞれのブロック主催による懇親会が開かれ、親睦を深めた。

会議項目と各ブロックの会議開催状況は次のとおり。

【会議項目（共通）】※詳細は別途送付の「ブロック会議総括表」を参照願います。

(1) 組合からの報告・説明事項

- ①上半期共同事業実績報告
- ②「災害時における水道施設復旧等応援活動に対する要綱」の一部改正について
- ③組合BCPの更新について
- ④水道管布設工事の諸経费率算定基準変更について
- ⑤その他（全管連「経営に関する実態調査」への協力依頼）

(2) 会員からの提出議題

- ・上下水道に関する課題・要望等

【各ブロックの開催状況】（開催日順・敬称略）

■泉ブロック

開催日 令和6年10月21日(月)
 場所 力寿司 清柳館
 出席者 会員等21名

執行部 井上理事長以下四役、他
 代表幹事 神田 和隆 (有明和設備工業)
 副代表幹事 阿部 一貴 (三豊工業(株))
 担当理事 郷古 孝雄 (有藤英工業)

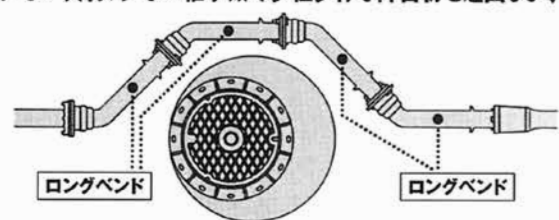


泉ブロック

クダイトの
迂回ユニット

あらゆる局面に対応する
GX形 B・Bユニット

少ない資材、少ない継手数で多種多様な障害物を迂回します。



ニーズに技術で応える
 株式会社クダイト URL <http://www.kurodite.co.jp/>
 仙台営業所 仙台市若林区卸町1-6-15 (卸町セントラルビル) 〒984-0015 電話 (022) 283-5959
 営業本部 愛知県高浜市八幡町1丁目1番地1 〒444-1302 電話 (0566) 53-0901

■青葉ブロック

開催日 令和6年10月22日(火)
 場所 パレスへいあん
 出席者 会員等17名

執行部 井上理事長以下四役、他
 代表幹事 高田 浩之 (ウォーターワークス仙台(株))
 副代表幹事 扇 俊介 (藤倉設備工業(株))
 担当理事 大泉 雄介 (株北栄工業所)



青葉ブロック

■宮城野・若林・太白ブロック合同

開催日 令和6年10月24日(木)
 場所 ホテル白萩
 出席者 会員等30名

執行部 井上理事長以下四役、他

[宮城野ブロック]

代表幹事 佐藤 敏昭 (仙興設備(株))
 副代表幹事 氏家 利明 (ミノワ設備工業(株))
 担当理事 松岡 清一 (株松清産業)

[若林ブロック]

代表幹事 渡邊 修一 (有今野設備工業)
 副代表幹事 出野 正弘 (有共立設備)
 担当理事 大浦 明 (株仙塩管工事センター)

[太白ブロック]

副代表幹事 星川 勇 (有嘉平工業所)
 担当理事 相澤 良朋 (株相澤設備)



宮城野・若林・太白ブロック



用途に合わせて選べる TAKの水道管シリーズ

製造、販売

●ステンレスプレファブ鋼管	●鋼管プレファブ管	●伸縮可撓継手
●硬質塩化ビニルライニング鋼管	●水輸送用塗覆装鋼管	●スネークジョイント
●耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	●水道用ポリウレタン塗覆装鋼管	●フッ素樹脂ライニング鋼管
●ポリエチレン粉体ライニング鋼管	●集合住宅給水システム	●特殊ダクト
●ナイロンコーティング鋼管	●銅管継手・銅製プレファブ管	

株式会社 多岐製作所 アクア・プラントカンパニー 東日本水道管業統括部 東北グループ
 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井四丁目 26 番地 2 TEL.(022)288-2161 FAX.(022)288-2164
<http://www.tak-ss.co.jp/>



さびない、軽い

ASAHI AV

樹脂製バルブ

しかも丈夫で長持ち

🔍 旭有機材 管材 検索



駆動部まで高耐食の
 バタフライバルブ57型エア式AR型 お問い合わせ：旭有機材株式会社 管材システム事業部 東京営業所 TEL：03-5826-8829/FAX：03-3834-7592

上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会を開催

12月4日(水)、当組合3階研修室において、上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会が開催され、仙台市水道局より2名、同建設局より2名、仙台市水道サービス公社より4名、当組合からは上下水道委員を中心に10名の合計18名が出席した。

午後2時、はじめに当組合の郷古孝雄上下水道委員長(有藤英工業)と3機関を代表して水道局の植木義則給水装置課長から挨拶があった後、意見交換を行った。

なお、意見交換項目と出席者は次のとおり。

[意見交換項目]

仙台市水道局関係

- ①工事用水の竣工検査について ②マイクロ図面の取扱いについて ③マイクロ図面の取得について
- ④2階建物件の水理計算とメーター口径について ⑤直結給水方式のテナントビルの申請について
- ⑥建築物管理者の捺印について ⑦捺印書類の簡素化について ⑧道路種別、設計水圧について
- ⑨使用材料変更時の通達について ⑩2階協議対象物件外の水理計算の有無について ⑪給水管口径と分岐標準表の改訂について
- ⑫給湯器の1栓取扱いについて ⑬カラーコピー機の設置について
- ⑭集合住宅の水道加入金の取扱いについて ⑮戸番図について ⑯水圧テストの検査について

仙台市建設局関係

- ①塩ビ製公共マスについて ②下水道閲覧システムについて ③取付管の申請等について

(公財)仙台市水道サービス公社関係

- ①窓口の対応について ②竣工図書等について ③申請書類控え、申請図、竣工控え図の受取方法について
- ④道路復旧の面積について

[出席者]

仙台市水道局給水部給水装置課

植木 義則 課長

天間 智哉 主幹(兼)給水装置係長

仙台市建設局下水道経営部業務課

鈴木 雄一 課長

三塚 祐司 主幹(兼)排水設備係長

(公財)仙台市水道サービス公社

高橋 修 専務理事(兼)事務局長

鈴木 正弘 設計課長

大野澤 智 設備審査課長

永倉 洋 設備審査課主幹(兼)審査係長

宮城県管工業協同組合

郷古 孝雄 上下水道委員長(有藤英工業)

相澤 良朋 上下水道副委員長(株相澤設備)

神田 和隆 同 委員(有明和設備工業)

古山 幸司 同 委員(山幸総合設備(株))

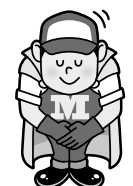
後藤 和弘 同 委員(有勇扇工業)

岩城 貴大 同 委員(株江陽工業)

吉田 秀之 専務理事 小川 憲昭 常務理事

堀 政信 理事 千葉 史規 事務局長

組合員の皆様には「ブロック会議総括表」と併せて「4者間意見交換会記録」を昨年12月下旬に送付させていただいておりますので、ご確認願います。



Mr. みやかん

青下の杜プロジェクト

[[鳥の巣箱設置等]に参加]

10月12日(土)、仙台市青葉区熊ヶ根の水道局青下水源地において、青下の杜プロジェクトの一環の森林保全作業として、森林を育むために有用な鳥の活動を促すために昨年に引き続き鳥の巣箱設置を行った。当組合は、青年部会員7名の協力を得て、親子合わせて総勢15名が参加した。

当日はさわやかな秋晴れに恵まれ、家族での参加者も多く、子供たちの歓声も響く中、和気あいあいと行われた。午前9時に水道局職員と協力企業5団体あわせて約50名が仙台市水道記念館(以下、「水道記念館」)に集合し、開会式のあと、巣箱づくりを開始した。

作業にあたり仙台市森林アドバイザーから、手順やコツなどの指導を受け、怪我がないように気を付けながら作業を行った。完成後、参加者全員で外に出て、巣箱を木に取り付けた。また、木の実を拾い、東日本大震災の津波で失われた仙台市東部地域のみどりの再生に取り組んでいる「ふるさとの杜再生プロジェクト」へ寄贈した。寄贈した木の実は、海岸公園センターハウスで3年ほど育苗して海岸公園藤塚地区の海岸防災林として植樹されるほか、一部は青下水源地に水源涵養林として植樹される。

毎年12月から水源地は冬季休業に入るが、4月には再び開場するので、多くの皆様に、仙台市水道の歴史を知ることができる水道記念館、水源を養い育てる自然林、そして鳥のさえずりを聞きに青下の杜を訪れていただきたい。

なお、昨年設置した巣箱には野鳥が使用した痕跡が残っていたため、有効な取り組みとして、今後も継続が予定されているとのことである。



巣箱を設置しました

[[花植え体験]に参加]

10月17日(木)、仙台市青葉区熊ヶ根の水道記念館において、仙台市水道局主催による青下の杜プロジェクト「花植え体験」が実施された。昨年に引き続き2度目の開催となった。当組合からは職員2名が参加したほか、上愛子小学校の6年生、熊ヶ根保育所の5~6歳児、青下の杜プロジェクト協力企業が参加した。

当日は雲一つない快晴となり、青空の下、屋外にて行われた。午前10時、水道局職員と上愛子小学校針生崇校長の挨拶の後、インストラクターから花植えの説明があり、作業を開始した。

今回の体験は、色鮮やかなパンジーやビオラ90株をプランター1基に3株ずつ植えていくというものであった。参加者は朗らかな笑顔を交えつつ、真剣な表情で、土と肥料が入ったプランターに花の苗が入るようスコップで穴を掘り、育苗ポットに入っている花の苗を取り出して1株ずつ植える作業を行った。全ての苗を植え終わった後、仙台市水道局マスコットキャラクター「ウォッター君」から、上愛子小学校と熊ヶ根保育所の代表者に、青下の杜プロジェクト協力企業が用意したノベルティが手渡された。続いて、青下の杜プロジェクト協力企業を含む参加者とウォッター君との記念撮影が行われ、終了となった。完成したプランターは水道記念館の入口に並べられ、通路を彩っている。



入口通路のプランターに花を植える小学生

令和6年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催

10月4日(金)と5日(土)の2日間にわたり、当組合3階研修室において給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催したところ、組合員の従業員等17名が受講した。この講習会は主任技術者試験合格の一助となるよう例年開催しており、講師は当組合の小島修繕センター部長が務めた。

開講にあたって松岡清一総務・厚生委員長(株松清産業)から「この2日間をしっかりと活用して、合格目指して邁進していただきたい」との挨拶があった後、早速講習に入った。



松岡委員長



小島部長

冒頭、講師の小島部長より、全ての科目で合格点を取る必要があること等、試験の合格基準の具体的な説明があり、また、「過去問題を何度も繰り返して解き、冷静に試験に臨めば確実に合格に近づく。受講生の皆さんは仕事をしながらで、なかなか時間が取りにくいと思うが、この講習後勉強を継続して合格してほしい」と話された。その後、2日間にわたり、『給水装置工事技術

指針』と全国管工事業協同組合連合会発行の『これならわかる問題と解説』から抜粋して作成した資料によって過去問題を解きながら解説していく形で講習が行われた。出席者は、集中して講義を受け、演習問題に取り組んでいた。



講習会の様子

【講習内容：試験範囲全般】

公衆衛生概論、水道行政、給水装置工事法、給水装置の構造及び性能、給水装置計画論、給水装置工事事務論、給水装置の概要、給水装置施工管理法

ダクタイトイル管

日本鑄鉄管(株) 特約店

ナンブ

株式会社

ナ ン ブ

代表取締役 植原 文夫

(本 社) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-6-7
(東北営業所) 〒981-3215 仙台市泉区北中山4-1-2

電話 03(5809)0562(代) FAX03(5809)0563
電話 022(379)4393(代) FAX022(379)4394

宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催

10月8日(火)と9日(水)の2日間にわたり、宮城県白石工業高等学校において、同校の設備工業科2年生36名を対象に標記講習会を開催した。開催にあたっては、当組合が主体となり、メーカー3社(株クボタ・積水化学工業(株)・前澤給装工業(株))の協力をいただいた。

同講習会は、近年、配管施工に関する技術が目覚ましく進展している中で、学校のカリキュラムだけでは、なかなか学ぶことが出来ない配管工事の最新技術を体験学習するもので、令和3年度からスタートし、今回は4回目の開催となった。

3日午前11時、はじめに同校の加藤進一校長と当組合の井上理事長から挨拶があった後、講師が紹介され、講習に入った。

一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会(株クボタ)が水道施設とダクタイル鉄管について、積水化学工業(株)が水道配水用ポリエチレン管の施工について、前澤給装工業(株)がサドル付分水栓と施工について、それぞれ担当者が座学で説明を行った。



白石工業 加藤校長



ダクタイル鉄管の接合

座学の後、実技講習が4～5人一組の6班に分かれて行われ、各コースを2日間で順番に体験した。

実技講習の終了後、講義室に生徒全員が集まり、閉講式が行われた。はじめに、当組合堀理事から、2日間の講習会の講評と、当組合の事業等について締めめの講義があり、続けて、全管連作成の「管工事お仕事紹介動画リクルート編」を放映した。

その後、生徒代表からお礼の言葉をいただき、2日間の講習会を無事終了した。



水道配水用ポリエチレン管の切断



サドル付き分水栓の施工

長年の経験・技術で水道事業に貢献致します。

水道用ゴム輪・フランジパッキン・ポリエチレンスリーブ・サンエコシート・埋設シート・管明示テープ・ロケティングワイヤー



水道用ゴム輪



フランジパッキン



ポリスリーブ



溶剤浸透防護スリーブ



水圧試験機本体



折り畳み開栓機

日本水道協会第1種検査工場 ISO9001:2015(本社・滋賀工場)

ISO14001:2015(滋賀工場) 認定取得

サンエス護工業株式会社
SUN ESU

仙台支店
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井五丁目1番地の3
TEL 022-287-1601 FAX 022-287-5383

「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催



白石工業 日下科長

12月11日(水)、宮城県白石工業高等学校において、「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県の主催で開催された。建設産業では現在、従事者の高齢化や若手技術者・技能者の減少等により担い手不足が深刻化している。そこで、地元建設企業の若手技術者・技能者が、建設産業の将来の担い手として期待される県内工業高校の生徒と交流し、建設産業の魅力ややりがい、労働環境等を直接伝えることで建設産業に対する関心・理解を醸成し、今後の就労促進を図ることを目的としてこの事業が実施されており、今回で5年目となる。当組合は県からの要請を受けて、組合員企業から若手の技能者を派遣した。

当日は、午前9時に県土木部事業管理課建設業振興・指導班の藤永誠主査の司会で開会し、同校設備工業科の日下真一科長から挨拶があった後、(一社)宮城県建設業協会を代表して(株)松浦組の松浦洋平代表取締役から、建設産業の魅力等についての講話があった。

次に、県が制作した建設業入職促進支援・啓発動画を視聴した後、生徒が4つのグループに分かれ、グループのコーディネーター役を当組合から派遣した石川昂由氏(株)いづみ衛生施設工業)の他、(一社)宮城県建設業協会から派遣された猪股諒輔氏(株)松浦組)、(一社)宮城県空調衛生工事業協会から派遣された石橋華多氏(株)ホシナ)、(一社)宮城県建設専門工事業団体連合会から派遣された稲富勇太氏(株)稲富塗装店)が務めた。15分間ずつのフリートーク形式で進められ、コーディネーターの4名は各グループを移動しながら生徒全員と交流を図り、今の仕事を選んだ理由、仕事の内容や魅力、給料、休暇の取得状況、建設業に必要な資格等、生徒の質問に丁寧に答えていた。



(株)いづみ衛生施設工業の石川氏

町野式口金内蔵
ラクエア **耐震補修弁** **マルチガスケット**

時代に應える製品で
 安心・安全な水を届けます。

水道用バルブから水処理まで
 SGS 株式会社 清水合金製作所

仙台営業所 仙台市若林区河原町1-5-1 ハイツ河原町 TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320
 本社(滋賀県彦根市)・札幌・青森・東京・名古屋・大阪・中国四国・九州

株式会社 **キッツ** の 給水装置用製品

- サドル付分水栓
- ボール止水栓
- 甲形止水栓
- 逆流防止弁
- 青銅製継手
- 水道用ポリエチレン管金属継手(KCPジョイント)
- 塩ビ管用伸縮可とう式継手(リークジョイント)
- フレキシブル継手
- 給水・給湯樹脂管用ワンタッチ継手(クリアロックS)
- メータユニット

■ お問い合わせは
 東北営業所
 〒980-0811
 仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
 ☎022-224-5335 Fax 022-224-5336
 ホームページ <https://www.kitz.co.jp>

株式会社 **キッツ**

令和6年度給水装置工事配管技能検定会開催



給工財団 小日向部長

11月19日(火)、当組合構内において、公益財団法人給水工事技術振興財団(以下、「給工財団」)主催、公益社団法人日本水道協会と全国管工事業協同組合連合会(以下、「全管連」)の後援、全管連宮城県支部[宮城県管工事業協同組合連合会(以下、「宮管連」)]の運営により開催された。

水道法施行規則第36条第2号に、配水管から水道メーターまでの給水装置工事については、適切な技能を有する者に施工させる旨が規定されている。給工財団では、適切な技能を有する者を養成するため、平成11年度から「給水装置工事配管技能者講習会」を開始したが、水道事業発展への更なる貢献と技能を有する者の養成促進という観点から、平成22年に講習内容の検討と見直しを行い、平成24年度より「給水装置工事配管技能検定会」に変更されている。

この検定会は、2年以上の給水装置工事实務経験と配水管の分岐穿孔及び給水管の接合等の技術に関する基本的な知識を既に有する者、又は工業高等学校等の卒業者で配管実技を履修している者等を対象としており、今回は36名(うち、宮管組合員企業から21名)が受検した。

当日は、事務局を与る当組合の千葉事務局長が司会を務め、はじめに給工財団の小日向謙教務部長と宮管連の堀政信専務理事(当組合理事)から挨拶があり、実技監督員の紹介の後、運営の協力を頂いた前澤給装工業(株)の社員による分岐穿孔の模範実演が行われ、受検者はそれを参考にしながら課題に取り組んだ。

なお、検定内容は次のとおり。



宮管連 堀専務理事

【実技課程 (120分)】

「配水管(ダクタイル鋳鉄管)へのサドル付分水栓の取付け」

「手動式穿孔機による配水管の分岐穿孔」

「給水管3管種(ポリエチレン二層管、硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管)の切断・接合・組立」

【学科課程 (90分)】

「水道法」「水道水質」「給水管、継手、分水栓及び各種弁類」「給水装置工事」「道路上における給水装置工事」「水理学の基礎」



検定会の様子

The next quality. The next performance.

GENEX

For Earth, For Life
Kubota



株式会社 **クボタ** パイプシステム事業部

令和6年度宮管親善ボウリング大会を開催

11月26日(火)、仙台市宮城野区のコロナキャットボウル仙台店において恒例の宮管親善ボウリング大会を開催したところ、組合員従業員16社78名が参加した。この大会は、福利厚生事業の一環として総務・厚生委員会が担当している。

大会開始時刻の午後6時30分、氏家利明委員（ミノワ設備工業株）の司会で開会し、はじめに井上理事長から挨拶があり、続いて、ボウリング場の担当者からルール説明が行われ、5分間の練習ボールの後、一斉にスタートした。会場内は、ストライクやスペアが出ると歓声を上げたり、ハイタッチをして盛り上がる姿などが見られ、参加者は楽しみながら汗を流していた。

表彰式は、佐藤敏昭委員（仙興設備株）の司会で進められ、安達一昭委員（株安達工業）が成績発表を行い、松岡清一総務・厚生委員長（株松清産業）から入賞者へ賞品が手渡された。個人戦は、男性の部では、株安達工業の高橋健さんが優勝し、女性の部では株安達工業の飯野幸江さんが優勝した。また、団体戦も株安達工業が栄冠を勝ち取った。

なお、結果は次のとおり。



ストライクで盛り上がる様子

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊X[®]

「抜群の施工性」
ナットを外さずに施工ができます。
配管吊り込み時にパイプの
調整が楽にできます。

「向上した安全性」
3つ（脱着防止・外れ防止・目視確認）
の新機構で実現した、
これまでに無い安全性

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

雑魚とは違ふのだよ

株式会社 カクダイ

水出し動画は
コチラ

品番 711-060-13

- 寿命はありません。
- 設置にふく調理師免許は必要ありません。
- 吐水はあまり上手ではありませんが、愛嬌としてご容赦ください。

仙台営業所 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-4-14 TEL (022)239-8371 FAX (022)239-8370

[個人戦：男性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	高橋 健	(株)安達工業	181	214	395		395
準優勝	前塚 芳貴	(株)安達工業	145	180	325		325
第3位	岩城 貴大	(株)江陽工業	197	126	323		323
第4位	本山 泰督	本山振興(株)	166	134	300		300
第5位	福山 睦男	ウエノ設備(株)	137	126	263	20	283

[個人戦：女性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	飯野 幸江	(株)安達工業	181	142	323	50	373
準優勝	西村 瑠亜	(株)安達工業	140	141	281	50	331
第3位	伊藤美智代	(株)宮城日化サービス	116	107	223	50	273
第4位	高橋 静穂	(株)ヨネヤマ設備	91	104	195	50	245
第5位	杉本 優子	熱研プラント工業(株)	81	112	193	50	243



男性の部優勝の高橋さん (左)



女性の部優勝の飯野さん (左)

[団体戦]

順位	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	(株)安達工業	616	690	1306	50	1356
準優勝	(株)金華工業商会	513	419	932		932
第3位	(株)ヨネヤマ設備	406	472	878	50	928



団体戦優勝の(株)安達工業の皆さん

第52回仙台市技能功労者表彰を受賞 ～(株)興盛工業所 井上 修 氏～



(株)興盛工業所 井上氏

団体連絡協議会阿部忠会長から祝辞が述べられた後、21職種34名に対し、表彰状の授与が行われた。

仙台市技能功労者は、仙台市内の事業所に勤務している技能者及び自営業者で、経験30年以上を有し、他の技能者の模範と認められた方が表彰されている。

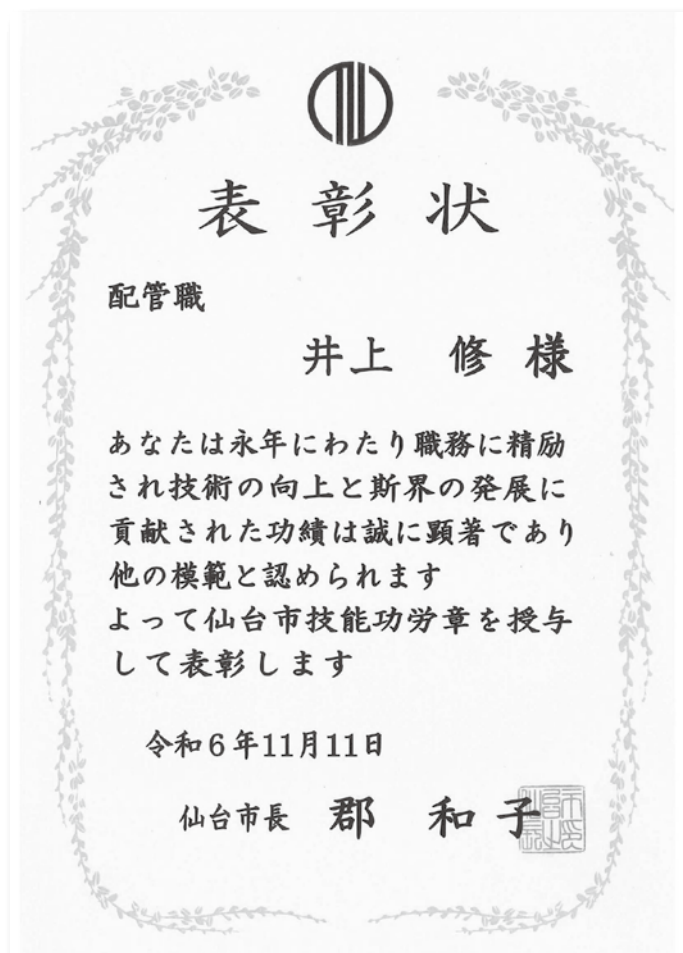
誠におめでとうございます。

11月11日(月)、仙台市宮城野区の仙台サンプラザにおいて、仙台市主催による第52回仙台市技能功労者表彰式が行われ、席上、当組合から推薦した組合員(株)興盛工業所の井上修氏が受賞した。

表彰式は、はじめに郡仙台市長の式辞があり、続いて、来賓を代表して仙台市議会議長(代理：鈴木広康副議長)と仙台市技能職



郡仙台市長から表彰を受ける井上氏(左)



「みやぎの建設技能グランプリ」 功労賞を受賞 ～中央管工業(株) 松樹 栄蔵 氏～



中央管工業(株) 松樹氏

11月26日(火)、仙台市青葉区の宮城県建設産業会館において、令和6年度宮城県建設雇用改善推進大会が開催され、席上、組合員中央管工業(株)の松樹栄蔵氏が「みやぎの建設技能グランプリ」功労賞を受賞した。

この表彰は、優れた現場技能者を対象として、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲を喚起し、その能力と資質の向上を図り、もって建設業の健全な発展に寄与することを目的に(一社)宮城県建設業協会が行っているものである。

松樹氏は、長く管工事業に従事し、職長(配管工)として日頃から若手技能者に安全管理の重要性を伝えるとともに、社内全体の技術・技能の向上を目指して後進の指導育成にも積極的に取り組んでおり、その姿勢は他の模範となっている。また、2級建設機械施工技士の資格を取得し、長年の経験で得た知識・技能を生かして良質な施工を行っていること等が高く評価され、今回の受賞となった。

誠におめでとうございます。



新発売

わずか40mm角柱! スタイリッシュな New デザイン。
エクステリアの次世代型不凍水栓柱、選べる14色!

デザイン不凍水栓柱 *Ice Rouge* アイスルージュ

株式会社 外村製作所 仙台支店

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18 TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290



オプションで「花ハンドル」の蛇口に取り替えられます



令和7年4月から 育児・介護休業法が改正されます

北山F P 社会保険労務士事務所
代表 北山茂治

「育児・介護休業法」（正式名称は「育児休業介護休業と育児または家族介護を行う従業員の福祉に関する法律」と言います）は令和6年5月31日に公布され、その施行は、大部分が令和7年4月1日となり、一部が令和7年10月1日となります。前回令和4年の施行から期間の短い改正となっています。今回の改正では新たに事業主に義務付けられる事項が多く、実務上大きな影響があります。

<令和7年4月1日から施行の内容>

まず、4月1日施行の内容を見てみましょう。1から5までが育児関連で、6から9が介護関連となっています。

1. 子の看護休暇の見直し

- ・対象となる子の範囲は、現在は小学校入学前までですが、これが「小学校3年生終了まで」に拡大されます。
- ・取得事由が拡大されます。現在は①病気・けがと②予防接種・健康診断の2つでしたが、これに③感染症に伴う学級閉鎖等と④入園（入学）式・卒園式が追加されます。
- ・現在労使協定で「継続雇用期間が6か月未満」の従業員は除外できましたが、これができなくなりました。労使協定で除外できるのは「週の所定労働日数が2日以下」の従業員だけになります。
- ・名称も「子の看護等休暇」と「等」が付け加えられています。

2. 所定外労働の制限（残業免除）の対象拡大

残業免除の対象は現在「3歳未満」の子を養育する従業員が対象でしたが、これが「小学校就学前まで」に拡大されます。

3. 短時間勤務制度（3歳未満）の代替措置にテレワークが追加

短時間勤務制度を講ずることが困難と認められる業務で、その業務に従事する従業員がいる場合にのみ、労使協定を締結し除外規定を設けた上で、代替措置を講ずることができます。この代替措置は現在①育児休業に関する制度に準ずる措置②始業時刻の変更等の2つですが、これに③テレワークが追加されます。

4. 育児のためのテレワーク導入

3歳未満の子を養育する従業員がテレワークを選択できるように措置を講ずることが、事業主の努力義務になります。

5. 育児休業取得状況の公表義務適用拡大

現在従業員数1,000人超の企業は「男性の育児休業等の取得率」または「育児休業等と育児目的休暇の取得率」を、年1回、事業年度の終了後おおむね3か月以内に、インターネットなどで公表しなければなりません。これが従業員数300人超の企業にまで拡大されます。

6. 介護休暇を取得できる従業員の要件緩和

現在「継続雇用期間が6か月未満」の従業員は除外できますが、これができなくなりました。労使協定で除外できるのは「週の所定労働日数が2日以下」の従業員だけになります。

7. 介護離職防止のための雇用環境整備

介護休業や介護両立支援制度等の申出が円滑に行われるようにするため、事業主は以下の①～④いずれかの措置を講じなければなりません。

- ① 介護休業・介護両立支援制度等に関する研修の実施
- ② 介護休業・介護両立支援制度等に関する相談体制の整備（相談窓口設置）
- ③ 自社の従業員の介護休業取得・介護両立支援制度等の利用の事例の収集・提供
- ④ 自社の従業員へ介護休業・介護両立支援制度等の利用促進に関する方針の周知

8. 介護離職防止のための個別の周知・意向確認等

(1) 介護に直面した旨の申出をした従業員に対する個別の周知・意向確認

介護に直面した旨の申出をした従業員に対して、事業主は介護休業制度等に関する周知と介護休業の取得・介護両立支援制度等の利用の意向の確認を、個別に行わなければなりません。

※ 取得・利用を控えさせるような個別周知と意向確認は認められません。

(2) 介護に直面する前の早い段階（40歳等）での情報提供

従業員が介護に直面する前の早い段階で、介護休業や介護両立支援制度等の理解と関心を深めるため、事業主は介護休業制度等に関する①～③事項について情報提供しなければなりません。

- ① 介護休業に関する制度、介護両立支援制度等（制度の内容）
- ② 介護休業・介護両立支援制度等の申出先（例：人事部など）
- ③ 介護休業給付金に関すること

9. 介護のためのテレワーク導入

要介護状態の対象家族を介護する従業員がテレワークを選択できるように措置を講ずることが、努力義務となります。

<令和7年10月1日から施行の内容>

令和7年10月1日からは次の施行があります。

10. 柔軟な働き方を実現するための措置等

(1) 育児期の柔軟な働き方を実現するための措置

- ・ 事業主は、3歳から小学校就学前の子を養育する従業員に関して、以下5つ措置の中から、2つ以上の措置を選択して講ずる必要があります。
- ・ 従業員は、事業主が講じた措置の中から1つを選択して利用することができます。
- ・ 事業主が講ずる措置を選択する際、過半数組合等からの意見聴取機会を設ける必要があります。

- ① 始業時刻等の変更
- ② テレワーク等（10日以上/月）
- ③ 保育施設の設置運営等
- ④ 就業しつつ子を養育することを容易にするための休暇（養育両立支援休暇）の付与（10日以上/年）
- ⑤ 短時間勤務制度

(2) 柔軟な働き方を実現するための措置の個別の周知・意向確認

3歳に満たない子を養育する従業員に対して、子が3歳になるまでの適切な時期に、事業主は柔軟な働き方を実現するための措置として上記（1）で選択した制度（対象措置）に関し周知と制度利用の意向の確認を、個別に行わなければなりません。

※ 利用を控えさせるような個別周知と意向確認は認められません。

11. 仕事と育児の両立に関する個別の意向聴取・配慮

(1) 妊娠・出産等の申出時と子が3歳になる前の個別の意向聴取

事業主は、従業員が本人または配偶者の妊娠・出産等を申し出た時と、従業員の子が3歳になるまでの適切な時期に、子や各家庭の事情に応じた仕事と育児の両立に関する以下の事項につい

て、従業員の意向を個別に聴取しなければなりません。

(2) 聴取した従業員の意向についての配慮

事業主は、(1)により聴取した従業員の仕事と育児の両立に関する意向について、自社の状況に応じて配慮しなければなりません。

〈具体的な配慮の例として〉

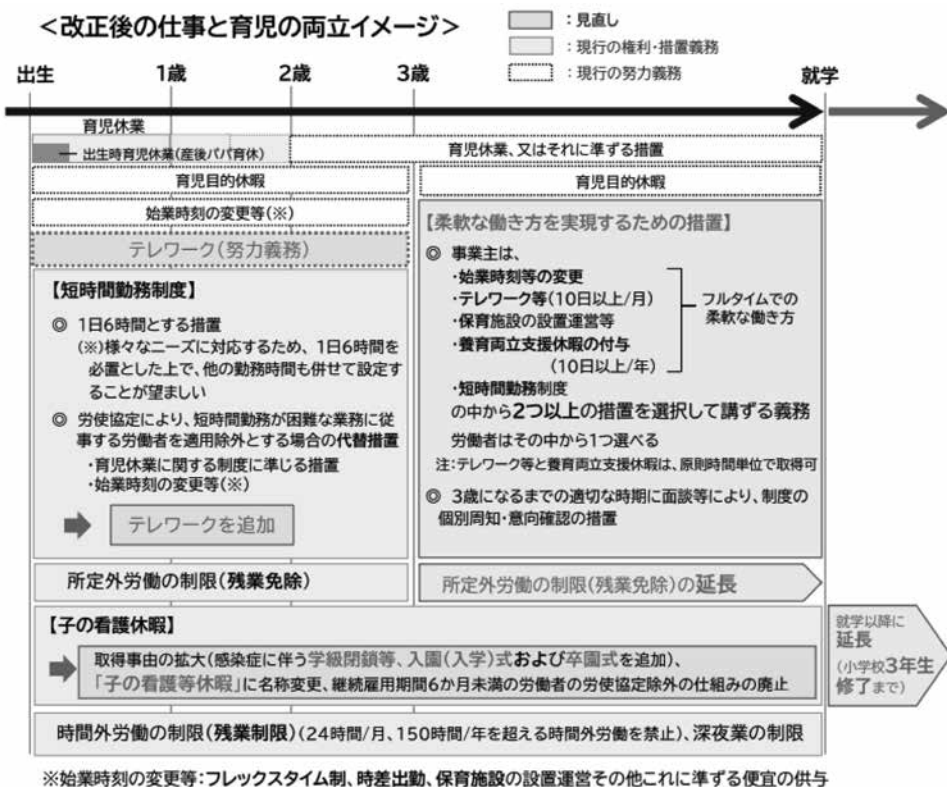
- ・勤務時間帯、勤務地にかかる配置・業務量の調整・両立支援制度等の利用期間等の見直し
- ・労働条件の見直し等

今回の改正で就業規則の変更が必要になります。厚生労働省のホームページにモデル就業規則が掲載されていますので参考にしてください。

<両立支援等助成金>

職業生活と家庭生活が両立できる「職場環境づくり」のために、仕事と育児・介護の両立支援に取り組む事業主に対して、「両立支援等助成金」があります。

令和7年度は改正育児・介護休業法にあわせて助成内容が変更になる予定ですので、またこの紙面で掲載したいと思います。



参考資料:「育児・介護休業法改正のポイントのご案内」 厚生労働省リーフレット(令和6年11月作成)

ライフラインを支える使命

人々の暮らしを守る技術がマエザワにあります。



水のマエザワ

前澤工業株式会社

東北支店
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号 TEL (022)298-7611
www.maezawa.co.jp

令和6年度宮城県内管工事業協同組合青年部 合同秋季研修会に参加して

秋季移動研修会実行委員長 星川 勇 (有)嘉平工業所

9月28日(土)に石巻市内において令和6年度秋季移動研修会を開催しました。この秋季移動研修会は、われわれ宮管青年部をはじめ、石巻広域管工事業協同組合青年部、大崎市管工事業協同組合青年部、登米市管工事業協同組合青年部の4単組で毎年持ち回りにより開催しております。今回は石巻青年部がホストになり企画・運営をしていただきました。

研修会では例年、講師を招いた勉強会や、参加者同士でのテーブルディスカッションを行うことが多かったのですが、この度、石巻青年部が企画したのは石巻中央排水ポンプ場の施設見学でした。この施設は令和5(2023)年に完成したばかりで、石巻市全域の雨水を集約し旧北上川へ排水する施設とのこと。震災後、地盤沈下があった地域では大雨のたびに浸水被害があり、住民の人命、財産を守るためには不可欠な施設とのことでした。石巻市の職員の方から説明を受けながら施設内を見学し、普段見ることのない大型の機械設備に感銘を受けました。また、参加者がみな水道屋さんということもあり、見るところはやはり配管廻りになり、そこに時間を割いて見て回っておりました。

その後、場所を変えて、石巻市では老舗料理店の「とり文」で懇親会を行いました。石巻青年部長の挨拶のあと、宮管青年部の本山会長の主賓挨拶があり、大崎市青年部会長の乾杯の音頭で宴が始まりました。参加者が単組ごとに固まらないようシャッフルされたテーブルになったため、最初は静かな感じのスタートでしたが、各単組が持ち寄った地域の日本酒やワインが配られてからは自然と談笑する場面が増え、青年部らしい賑やかな会となりました。登米市青年部長の締め挨拶の後、2次会、3次会、4次会、5…と流れ、石巻の夜の街を迷子になりながら堪能させていただきました。

今回は宮管青年部がホストの仙台開催ですので、今回の石巻青年部さんに劣らぬような企画・運営を会員全体で行っていききたいと思います。

最後になりますが、お忙しいところご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。また、事務局の皆さんには多大なるご協力をいただきましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。



見学の様子



集合写真

「令和6年度青年部親善ゴルフコンペ」を開催して

親善ゴルフコンペ実行委員 石川 昂由 (株いづみ衛生施設工業)

11月7日(木)、利府町の利府ゴルフ倶楽部にて毎年恒例の青年部親善ゴルフコンペを開催しました。開会式では当会の本山会長よりご挨拶をいただき、ルール説明の後、朝日を浴びながら記念撮影を行い、プレー開始となりました。

当日は朝から冷え込みが厳しく、固まった体でプレーする方が多くいらっしゃったと思われませんが、始まってからはゴルフが好きな皆様を中心に大いに盛り上がり、楽しそうにプレーをされていました。

優勝は中央管工業(株)の渡辺 皓様が熟練の技で見事優勝となりました。ちなみに私は最初から最後までカートに乗ることも少なく、たくさんボールを打つこともできたので、元を取ったということならば大変有意義なゴルフになったと思われます。(笑)

今回のゴルフコンペには、大崎市管工事業協同組合、石巻広域管工事業協同組合、全環衛生事業協同組合の皆様方にも参加していただき、当ゴルフコンペの意義でもあります親善ということにも寄与することができたと考えています。また、プレーを通して、より皆様との交流を図れたと感じました。

私は今回の親善ゴルフコンペにて副委員長を務めさせていただきましたが、相澤淳委員長(株相澤設備)をはじめ、委員会の先輩方のご協力のお陰で、いろいろと貴重な体験をさせていただき感謝しております。まだまだ不慣れで至らない点が多々ありますが、今回の経験を生かして今後も青年部活動を盛り上げていきたいと思ひます。

最後に、ご多忙の中、青年部親善ゴルフコンペに参加していただいた皆様にご心より感謝を申し上げます。

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDPCP	NET
優勝	渡辺 皓	中央管工業(株)	56	54	110	38.4	71.6
準優勝	高田 浩之	ウォーターワークス仙台(株)	58	53	111	38.4	72.6
第3位	佐藤 秀一	(株)大盛設備工業	43	47	90	15.6	74.4
第4位	渡辺 毅浩	中央管工業(株)	45	47	92	16.8	75.2
第5位	安孫子武彦	全環衛生事業協同組合	51	51	102	26.4	75.6

※ベストグロス：佐藤 秀一 (株)大盛設備工業)、渋谷 昭 (石巻広域管工事業協同組合)



集合写真

～青年部新入会員の紹介～

(掲載は所属会社名50音順)



- 氏名 荒 悠 大 (あら ゆうだい)
- 会社名 (株)荒設備工業
- 役職名 代表取締役
- 趣味・特技 釣り
- 青年部でやってみたいこと

先輩達から多くのことを学びながら、知識・経験を増やし、青年部の一員として積極的に活動していきたいと思っております。



- 氏名 岩 城 貴 大 (いわき たかひろ)
- 会社名 (株)江陽工業
- 役職名 代表取締役
- 趣味 飲食
- 特技 ボウリング
- 青年部でやってみたいこと

同業他社の方々との交流を通じて見聞を広げ、青年部の一員として成長したいと思っております。

中低層建物から
超高層建物まで
フネンがお届けする
安心・安全・信頼の単管式継手

XJS-BK アクロススマート
ブロック



XJH-BK アクロスハイパワー
ブロック



閉塞機能を標準装備
下流側ストレートタイプも規格化
遮音システム同時販売

フネンアクロス株式会社
仙台営業所 宮城県仙台市若林区卸町東4-3-15 ポートビル3F
TEL. 022-390-4121 FAX: 022-288-1357

火無し工法だから、

1. ロウ付け不要
2. 施工時間を短縮
3. 火災・火傷の心配なし

ワンタッチ継手だから、

4. 特殊技能不要・締付け工具不要

「冷媒銅管用 ワンタッチ継手」

エフ-1
ワン

流体をコントロールするのが仕事です。

株式会社 タブチ

商品のお問合せは 専用回線 **06-6708-1051**

受付時間 平日 9時～12時 13時～17時 (土日祝日 弊社休業日は除く)



我が社のおすすめ品！



Mr. みやかん

当組合お取引資機材メーカー各社様が、おすすめる製品を紹介するコーナーです。

クイックハンドル 不凍水栓柱 P A III

HIKARI GOKIN
株式会社 光合金製作所

【商品詳細】

クイックハンドルでスマート操作!! 簡単に「凍結予防」ができる不凍水栓柱です。

【特徴構造】

- ①ハンドルの操作性と耐久性が飛躍的に向上!
- ②給水状態が一目でわかるスリーラインを採用!
- ③化粧管の傷防止に保護包装（ブルーフィルム）を採用!
- ④カラーバリエーション（ホワイト・ブラック・ブラウン）をご用意!
- ⑤開閉防止型（専用キー付）*PA3-K 水道の不正使用やいたずら防止に効果的です!
- ⑥ソーラーライト付きをご用意! *PA3-L 太陽光発電で夜になると自動点灯!

◆ホームページが充実リニューアル URL <https://www.hikarigokin.co.jp/>



★工場視察

北海道小樽市にある本社工場視察を随時受け付けております *要予約
車で新千歳空港より約60分／札幌中心部すすきのより約45分／小樽運河より約15分
北海道への出張や研修旅行などご予約の際は是非、お気軽にお問合せください!

〔問い合わせ先〕
株式会社 光合金製作所 仙台営業所
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町1-3-11
TEL022-238-6250 FAX022-238-6251

クイックハンドル 不凍水栓柱
PAⅢ/PAⅢ-L/PAⅢ-K

QUICK HANDLE!!
Ⅲ-Style

特許取得済(特許第6095168、6649339号)
意匠取得済(登録意匠第1707481号)

(一社)日本バルブ工業会
JV10規格品

◇取扱営業所/仙台・盛岡・秋田・松本

■製品特長

- クイックハンドルで簡単に給水・凍結予防ができます。ハンドル操作をする際は水栓を閉めてから行ってください。
- 揚水管と中シャフトにステンレス鋼(SUS304)を使用しました。耐食性・赤水対策は万全です。
- 凍結予防時のみ作動する吸気機能を標準装備しています。ハンドル操作だけで凍結予防ができます。
- 中シャフト一式を抜き出せるので保守点検が容易です。

簡単!
便利!

クイックハンドルで
“スマート”操作!!

水を出すとき

給水



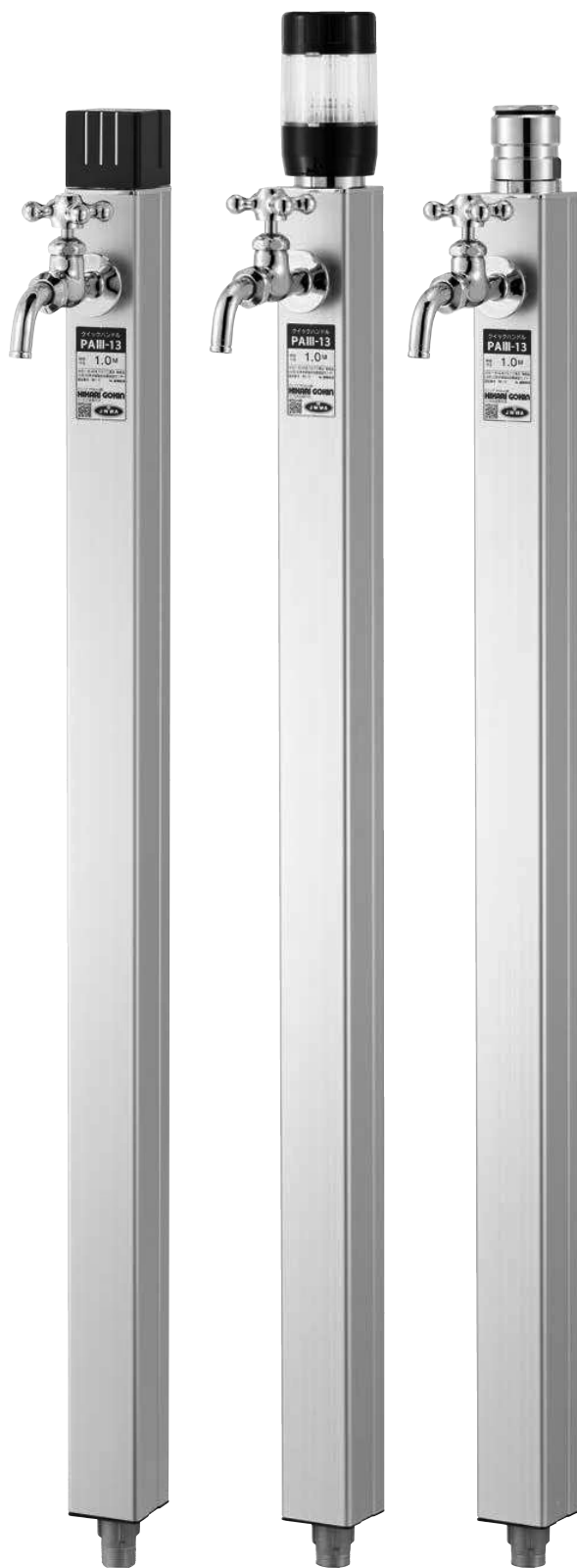
スリーラインを
正面へクイック!

水を抜くとき

凍結予防



スリーラインを
左へクイック!



ホワイト



ブラック



ブラウン

PAⅢ
水栓別売

PAⅢ-L
水栓別売

PAⅢ-K
水栓別売

PAⅢ-Colors
水栓別売

PAⅢ-L

- * ガーデンライト付
太陽光発電で、夜になると自動点灯。
停電時など、取り外して家の中で
利用できます。



PAⅢ-K 開閉防止型

- * 開閉防止型※専用キー付
公共施設・店舗・集合住宅の共用水栓
などで大活躍!
いたずらや水道の不正使用を防止する
のに効果的です。



専用キーの
取付は簡単です



『60-60』

(株)仙塩管工事センター 代表取締役
宮城県管工業協同組合
理事 大浦 明

またまた巡って参りました。広報誌みやかんの投稿が…。今回で6回目、巡ってくるのがちょっと早すぎなのでは??と毎回のようになってしまうのは私だけでしょうか? どれだけ年を重ねても作文と注射だけは子供の頃から変わることなく苦手です。嫌いです。投稿せずに投降したくらいです…。毎回の愚痴からの書き出しで大変失礼致しました。たいしたネタもございませんが、くだらない話に少しだけお付き合い願います。

今回の投稿は2025年1月発刊の新春号に掲載とのことですので、この原稿は2024年11月末に書いております。さて毎年年末になりますと“新語・流行語大賞”なる話題がメディアで紹介されております。近頃では記憶も曖昧なものですから〇〇ペディアで調べてみますと、1984(昭和59)年が始まりで、当時は“新人類(1986年)”や“ペレストロイカ(1988年)”などが金賞を受賞しております。そういえば私が新社会人となった頃の話ですが、当時の上司から“君たち世代は新人類って言うんだろ?!”と上から目線で言われ、“そんなこと言うアナタは旧人類ですよ!!”とは返さなかったものの腹の中で返事をした覚えがあります。(生意気な若僧でした…。反省。)その後の1991(平成3)年から今日に至るまで、年間大賞とトップテンを発表する形式になったとのこと。1991年以降の年間大賞を少しだけ紹介しますと“Jリーグ(1993年)”、“がんばろうKOBE(1995年)”、“失樂園(1997年)”、“チョー気持ちいい(2004年)”、“政権交代(2009年)”、“じぇじぇじぇ(2013年)”、“インスタ映え(2017年)”、“3密(2020年)”などなど、その当時の時代背景や流行を反映した言葉が並びます。そして昨年は“アレ/A.R.E(2023年)”が年間大賞でした。*もっと詳しく知りたい方はお手数ですがご自身でお調べ願います。

さて、2024年の新語流行語大賞はと言いますと11月初旬に30語がノミネートされており、12月初旬に年間大賞が発表されます。私が勝手に選んだトップテンですが、①50-50、②ふてほど、③新紙幣、④初老ジャパン、⑤被団協、⑥裏金問題、⑦新NISA、⑧トクリュウ、⑨ホワイト案件、⑩カスハラ、この中から大賞が決まるのでは?と勝手に想像しております。標題の“60-60”ですが、私のへっぽこゴルフのスコア(前後半で60-60)の話ではございません。私が勝手に年間大賞に選ばれるのでは?と考えている“50-50(大谷選手の50本塁打、50盗塁)”よりも更に上をいく“60-60”でございませぬ、2025年で弊社も地域の皆様に支えられ、お陰様にて創立60周年を迎えることとなりますことと、私自身が2025年で還暦を迎えることとなり、二つ合わせましての“60-60”でございませぬ。それにしてもMLBでの大谷選手の活躍は見事なもので、2024年シーズンは日本のプロ野球よりもメディア報道が多かったように感じました。そして、更には彼がもたらした経済効果も物凄い金額でして、推計で千数百億円以上とも言われております。比較するのも大変おこがましい話ですが、会社と私の60年の経済効果を合わせましても大谷選手の経済効果には遠く及びませぬ。しかしながら、字面だけは“50-50”の上をいく?!“60-60”でございませぬ。もちろん流行語大賞にノミネートされることは絶対にありませんけどね。

ということで、2025年は一年を通して明るい話題が盛り沢山の中から流行語大賞が選ばれるような年であることを願っております。穏やかで明るい一年でありますように!!

*2024年新語・流行語大賞は12月2日に発表され、私の予想は見事に外れて“50-50”ではなく、“ふてほど(不適切にもほどがある!)”でした。

組 合 の う ご き

- 9月2日(月)・(株)宮城県管工事会館役員会に菅原・小林両副理事長外出席
- 9月3日(火)・全管連第54回総務部会に井上理事長出席
- 9月9日(月)・広報委員会開催
- ① “みやかん” 清秋号の発刊について
 - ② 各コーナーの執筆者について
 - ③ “みやかん” 新春号寄稿者の選定について
- 9月10日(火)・令和6年度宮管親善ゴルフコンペを開催、組合員・取引メーカー等54名参加
- 9月12日(木)・9月度理事会開催
- ※報告事項
- ① 庶務報告
 - ② 共同事業実績報告
 - ③ 広報委員会報告
 - ④ 水道フェア2024出展報告
 - ⑤ 令和6年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告
 - ⑥ 宮管親善ゴルフコンペ実施報告
 - ⑦ 職員並びに嘱託員の採用人事について
- ※協議事項
- ① 仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について
- ※その他
- ① 「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について
 - ② 令和6年度中間棚卸しの実施予定
 - ③ その他（2024仙台市下水道フェア、資材展示会の開催案内）
- ・令和6年度後期技能検定試験実施計画説明会に大槻調整係長出席
- 9月13日(金)・第30回宮管・管工事機材展示会を開催、組合員等531名来場
- 9月15日(日)・2024仙台市下水道フェア開会式に井上理事長外出席、当組合ブースの運営に上下水道委員会の後藤委員、岩城委員外が従事
- 9月18日(水)・第66回東北エスロン会総会に小川常務理事出席
- 9月20日(金)・令和6年度中間棚卸しを実施
- 9月25日(水)・レベルアップ体験型安全運転研修会に小林総務係員、佐藤(玲)営業係員、佐藤(雅)営業係員、工藤工事係員参加
- 10月4日(金)・令和6年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催、組合員従業員等17名
～5日(土) 受講
- 10月8日(火)・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会に井上理事長外出席
～9日(水)
- 10月10日(木)・10月度理事会開催
- ※報告事項
- ① 庶務報告
 - ② 共同事業実績報告
 - ③ 令和6年度中間棚卸し結果報告
 - ④ 給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

⑤令和6年度配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告

⑥第30回宮管・管工事機材展示会実施報告

⑦2024仙台市下水道フェア出展報告

⑧職員の採用について

⑨第2倉庫改修工事について

※その他

①11月度役員会開催日程の変更について

②令和7年新年祝賀会の開催日程について

③年賀状の廃止について

④全管連「経営に関する実態調査」アンケート協力依頼について

10月12日(土)・青下の杜プロジェクト森林保全作業（鳥の巣箱設置等）に組合役職員と青年部会員等15名参加

10月15日(火)・仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情会に井上理事長外出席

10月17日(木)・全管連第359回理事会及び各部会打合せに井上理事長出席
・青下の杜プロジェクト（花植え体験）に組合職員2名参加

10月21日(月)・令和6年度宮管地区連絡会泉ブロック会議を開催、会員等22名出席

10月22日(火)・令和6年度宮管地区連絡会青葉ブロック会議を開催、会員等18名出席

10月24日(木)・令和6年度宮管地区連絡会宮城野・若林・太白ブロック合同会議を開催、会員等30名出席

10月25日(金)・仙台市水道水分神社祭に井上理事長、吉田専務理事外出席

10月28日(月)・第50回全管連東北ブロック支部長会議（福島県郡山市開催）に井上理事長、渡辺常任相談役外出席

10月31日(木)・令和6年度第2・四半期監査会
・第31回暴力団追放宮城県民大会に小林総務係員出席

11月1日(金)・令和6年能登半島地震応援活動に伴う意見交換会に堀理事外出席

11月6日(水)・上下水道委員会開催

※報告事項

①令和6年度工事事業の予算と上半期実績（4月～9月分）

②水道フェア2024報告

③2024仙台市下水道フェア報告

※協議事項

①4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・上下水道委員会）意見交換会の開催について

11月8日(金)・宮城県電気工事工業組合創立60周年記念式典祝賀会に井上理事長出席
・令和6年度後期技能検定実技試験に係る打合会に千葉事務局長出席

11月11日(月)・第52回仙台市技能功労者表彰式が開催され、組合員(株)興盛工業所の井上修氏が同表彰を受賞

11月12日(火)・企画委員会開催

※協議事項

①組合新規加入者の出資金及び加入金の改定について

②組合脱退者の持分清算について

11月15日(金)・11月度役員会開催

①庶務報告

- ②共同事業実績報告
- ③上下水道委員会報告
- ④企画委員会報告
- ⑤令和6年度技能検定実技試験の実施について
- ⑥令和6年度技能向上訓練（実技・学科部門講習会）の実施について
- ⑦令和6年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告
- ⑧第2・四半期決算報告
- ⑨第2・四半期監査報告
- ⑩令和6年度地区連絡会ブロック会議報告
- ⑪能登半島地震を教訓とした今後の災害復旧活動に関する意見交換会報告
- ⑫富谷市成田の土地賃貸借契約の更新について

※協議事項

- ①仙台市営バスへの広告掲出延長について
- ②令和7年新年祝賀会について

- 11月18日(月)・令和6年度随時実施技能検定（建築配管・プラント配管）実技試験が実施され、藤岡正行会長（㈱アトマックス）と相澤十四男会長（㈱相澤設備）が技能検定委員として運営にあたる
 - ・令和6年度宮城県職業能力開発関係表彰式に櫻井総務係長出席、席上、第62回技能五輪宮城県大会成績優秀者として工藤健心工事係員が宮城県職業能力開発協会会長表彰（敢闘賞）を受賞
- 11月19日(火)・令和6年度給水装置工事配管技能検定会開催、組合員従業員等36名受検
- 11月20日(水)・令和6年度宮城県水道DXセミナーに堀理事外出席
- 11月21日(木)・東北配管工事業協同組合令和6年度合同例会及び懇親会に井上理事長、小川常務理事出席
- 11月22日(金)・令和6年度安全運転管理優良事業所等表彰式に井上理事長出席、席上、当組合が安全運転管理優良事業所として、菊地伸也営業課長が優良安全運転管理者として宮城県警察本部長並びに（一社）宮城県安全運転管理者協会会長表彰を受ける
 - ・㈱宮城県管工事会館監査役会に吉田専務理事、武田監事出席
- 11月26日(火)・令和6年度宮城県建設雇用改善推進大会に堀理事外出席、席上、組合員中央管工業㈱の松樹栄蔵氏が第30回みやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞
 - ・令和6年度組合親善ボウリング大会を開催、組合員従業員等78名参加
- 11月27日(水)・宮城県建設産業団体連合会団体長・事務局等合同会議に井上理事長、堀理事出席
- 11月30日(土)・2024仙台市下水道フェア第23回川柳コンクール表彰式に吉田専務理事出席
- 12月2日(月)・㈱宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原・小林両副理事長外出席
 - ・令和6年度後期技能検定委員等打合せ会に藤岡正行会長（㈱アトマックス）、相澤十四男会長（㈱相澤設備）、福田幸穂社長（㈱加納工業所）、小島修繕センター部長外出席
- 12月3日(火)・改正育児・介護休業法等説明会に千葉事務局長出席
- 12月4日(水)・上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・公益財団法人仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会開催
 - ・建設業法令遵守講習会に櫻井総務係長出席
- 12月10日(火)・宮管連令和6年度臨時総会・役員会・事務局研修会に井上理事長、菅原副理事長外出席

12月11日(水)・「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県白石工業高等学校で開催され、(株)いづみ衛生施設工業の石川昂由氏がコーディネーターとして出席

12月12日(木)・12月度役員会開催

※報告事項

①庶務報告

②共同事業実績報告

③上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会について

④令和6年度親善ボウリング大会報告

⑤令和6年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

⑥仙台市指定給水装置工事事業者の新規指定並びに排水設備工事事業者の新規承認について

※その他

①年末年始休業について

②年末一時金の支給について

・役員懇談会開催

12月13日(金)・令和6年度宮城県建設雇用改善推進対策会議に井上理事長、堀理事出席

12月17日(火)・総務・厚生委員会による組合新規加入申込者の実態調査実施

12月18日(水)・宮城県官公需適格組合連絡協議会受注対策セミナーに井上理事長出席

12月26日(木)・広報委員会開催

※協議事項

①“みやかん”新春号の発刊について

12月29日(日)・年末年始休業

～1月5日(日)

組合員のうごき

○組合員代表者変更

ウエノ設備 株式会社 (No.203)

【令和6年9月24日付】

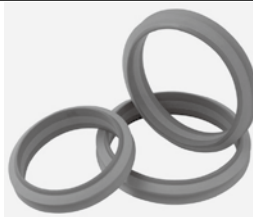


新 代表取締役 上野 敬幸
前 代表取締役 上野 隆士

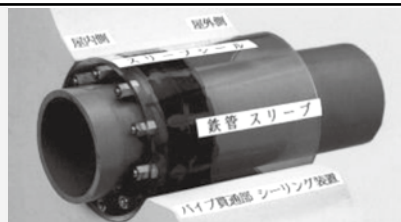
アカギ式 配管支持金具



ハヤツリ



止水A-リング



スリーブシール



配管支持金具の

株式会社

アカギ

仙台営業所 / 〒984-0002 仙台市若林区卸町東4-1-19 TEL022-287-7311
本社 / 〒104-8251 東京都中央区入船2-1-1 TEL03-3552-7331
支店・営業所 / 全国主要都市

理事（役員）会報告

－ 9 月度理事会 －

1. 日 時 令和 6 年 9 月 12 日 (木) 15 : 00 ～ 15 : 40
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3 階 研修室
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事・大泉理事
事務局 千葉事務局長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長 計 14 名
計 3 名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の 8 月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について 8 月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③広報委員会報告

小野広報委員長より、広報誌「みやかん」清秋号の掲載予定記事の内容審議を行った旨が報告され、一同了承した。

④水道フェア 2024 出展報告

郷古上下水道委員長より、8 月 20 日に開催された首題フェアについて、当組合の出展内容と当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑤令和 6 年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告

千葉事務局長より、8 月 23 日に開催した首題打合せでの協議内容と出席組合員に対する助成金について、また、後日決定したブロック会議の開催日時と場所等が報告され、一同了承した。

⑥宮管親善ゴルフコンペ実施報告

服部総務・厚生副委員長より、9 月 10 日に泉国際ゴルフ倶楽部で開催した首題ゴルフコンペについて、参加者、主な成績、収支結果等が報告され、一同了承した。

⑦職員並びに嘱託員の採用人事について

吉田専務理事より、令和 7 年度新規採用予定者と令和 6 年度内中途採用者について報告され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について

吉田専務理事より、10 月 15 日に予定している首題陳情について、当日の出席予定者、陳情の項目とその内容等の原案が図られ、一同了承した。

※その他

①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について

千葉事務局長より、宮城県土木部事業管理課から依頼があった首題の件について、本年度も白石工業高等学校へ昨年と同様、(株)いづみ衛生施設工業の石川昂由氏を講師として推薦したい旨が提案され、一同了承した。

②令和 6 年度中間棚卸しの実施予定

小川常務理事より、首題の件について、9 月 20 日に通常営業しながら実施する旨が説明され、一同了承した。

③その他（2024 仙台市下水道フェア、資材展示会の開催案内）

郷古上下水道委員長より、9 月 15 日に開催される 2024 仙台市下水道フェアの予定について、また、小川常務理事より 9 月 13 日開催予定の当組合資材展示会について案内され、一同了承した。

－10月度理事会－

1. 日 時 令和6年10月10日(木)15:00～15:40
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事・大泉理事 計14名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長 計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の9月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について9月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③令和6年度中間棚卸し結果報告

小川常務理事より、9月20日に実施した中間棚卸しの結果について、資材・工事の在庫状況が報告され、一同了承した。

④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

松岡総務・厚生委員長より、10月4日と5日に開催した首題講習会について、受講者数や収支等が報告され、一同了承した。

⑤令和6年度配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告

堀理事より、10月8日と9日の2日にわたり、同校設備工業科2年生を対象に実施した首題講習会について、講習内容や収支等が報告され、一同了承した。

⑥第30回宮管・管工事機材展示会実施報告

渡辺資材委員長より、9月13日に開催した首題展示会について、当日の出展者数、来場者数、収支等が報告され、一同了承した。

⑦2024仙台市下水道フェア出展報告

郷古上下水道委員長より、9月15日に開催された首題フェアについて、当組合の出展内容や従事者等が報告され、一同了承した。

⑧職員の採用について

吉田専務理事より、令和7年度新規職員採用予定者について報告され、一同了承した。

⑨第2倉庫改修工事について

堀理事より、仙台市水道局に賃貸している第2倉庫の改修工事について、工事を完了して、本日（10月10日）、建築基準法に基づく完了検査を受けたこと、また、敷地内未舗装部分の舗装工事を追加で行うこと、建屋の天井走行クレーンレールの修正工事を行う予定であること等が説明されるとともに、工事の主な費用について報告され、一同了承した。

※その他

①11月度役員会開催日程の変更について

千葉事務局長より、首題役員会開催日を11月15日(金)へ変更したい旨が説明され、一同了承した。

②令和7年新年祝賀会の開催日程について

千葉事務局長より、首題新年祝賀会の開催を1月20日(月)午後5時30分から江陽グランドホテルで行う予定である旨が説明され、詳細は次回役員会で提案することとし、一同了承した。

③年賀状の廃止について

井上理事長より、令和7年から当組合の年賀状の送付を廃止することについて、理事会で機関決定したい旨が提案され、一同了承した。

④全管連「経営に関する実態調査」アンケート協力依頼について

千葉事務局長より、首題の件について回答回収率が非常に低いことから、全管連本部より再度調査票の回収依頼があったため、未回答の方は協力いただきたい旨が説明され、一同了承した。

－11月度役員会－

1. 日 時 令和6年11月15日(金)15:00～16:30
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・郷古理事・大浦理事
服部理事・堀理事・大泉理事 計12名
監事 武田監事 計1名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長 計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の10月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について10月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道委員会報告

郷古上下水道委員長より、11月6日に開催した首題委員会において、令和6年度上半期の工事業実績と水道フェア2024並びに2024仙台市下水道フェアへの出展参画について報告した旨、次いで12月4日に行う予定の4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会の主な内容等について説明され、一同了承した。

④企画委員会報告

菅原企画委員長より、11月12日に開催した首題委員会において、組合新規加入者の出資金及び加入金の改定と、組合脱退者の持分精算について協議し、令和7年度の新規加入者の出資金を15万円に改定すること、脱退者の持分清算については、中協法と定款及び会計原則に則った適切な算定について確認した旨が報告され、一同了承した。

⑤令和6年度技能検定実技試験の実施について

⑥令和6年度技能向上訓練(実技・学科部門講習会)の実施について

小島修繕センター部長より、令和7年1月13日(月)と2月1日(土)・6日(木)に予定されている令和6年度技能検定の建築配管実技試験実施について、例年どおり試験事業の一部を受託して実施されることが報告され、一同了承した。また、その受検準備講習会を兼ねた技能向上訓練の実施予定[学科講習1・2級合同/令和7年1月11日(土)～12日(日)、実技講習1級・2級合同/令和7年1月25日(土)]と収支予算等が説明され、一同了承した。

⑦令和6年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告

千葉事務局長より、首題の受賞者について次のとおり報告され、一同了承した。

令和6年度仙台市技能功労者表彰受賞者

井上 修氏(株興盛工業所) 表彰式：令和6年11月11日

⑧第2・四半期決算報告

⑨第2・四半期監査報告

須藤事務長より、第2・四半期(令和6年4月1日～令和6年9月20日)の決算内容が報告された後、武田監事より、監査の結果について適正に会計処理されている旨が報告され、一同了承した。

⑩令和6年度地区連絡会ブロック会議報告

千葉事務局長より、3回に分けて開催した今年度のブロック会議について、各出席者、費用、会議内容等が報告され、会議記録を後日組合員へ送付して内容を周知することが付言され、一同了承した。

⑪能登半島地震を教訓とした今後の災害復旧に関する意見交換会報告

堀理事より、11月1日に開催された仙台市水道局と当組合との首題意見交換会について、出席者、内容が報告されると共に、地元仙台が被災した場合の資材供給、骨材供給、土砂置場の確保等の課題に関して今後当局と相談していくこととした旨が説明され、一同了承した。

⑫富谷市成田の土地賃貸借契約の更新について

須藤事務長より、当組合が賃貸している首題土地が11月30日で契約満了になること、近年の地価高騰と固定資産税の上昇に鑑み、今回の契約更新に当たり賃料増額改定を先方に申し入れて合意できたこと、また、その内容等が説明され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市営バスへの広告掲出延長について

須藤事務長より、令和7年1月14日で1年間の現契約が満了する市営バスへの広告掲出について、向こう1年間従前同様の5台で延長したい旨が提案され、一同了承した。

②令和7年新年祝賀会について

千葉事務局長より、令和7年1月20日(月)に江陽グランドホテルにおいて予定している新年祝賀会の開催案について説明され、一同了承した。

－12月度役員会－

1. 日 時 令和6年12月12日(木)16:00～16:35

2. 場 所 仙台国際ホテル 6階 楓

3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事・大泉理事

計14名

監事 三浦監事

計1名

事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長

計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の11月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について11月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会について

郷古上下水道委員長より、12月4日に開催した首題委員会について、当日の出席者、協議内容、当局から示された回答等が報告され、一同了承した。

④令和6年度親善ボウリング大会報告

松岡総務・厚生委員長より、11月26日に開催した首題大会の参加者数や費用等について報告され、一同了承した。

⑤令和6年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

千葉事務局長より、令和6年12月29日～令和7年1月3日迄の年末年始期間における首題の配置体制と寒波時の対応について説明され、一同了承した。

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに排水設備工事業者の新規承認について

千葉事務局長より、仙台市指定給水装置工事業者として令和6年8月から11月末までの間に8社が新たに指定を受けた一方、8社が指定廃止となったほか、26社が指定効力を失効したため、11月末現在の指定業者数が500社になったこと、また、仙台市公認排水設備工事業者として令和6年12月1日付けで新たに4社が承認された一方、1社が承認取消になったため、同日現在の公認業者数が377社になっていることが報告され、一同了承した。

※その他

①年末年始休業について

吉田専務理事より、今年度の年末年始休業について、令和6年12月28日(土)は午前中営業とし、翌29日から令和7年1月5日迄としたい旨が説明され、一同了承した。

②年末一時金の支給について

吉田専務理事より、今春の労使協定に基づき支給する年末一時金について報告され、一同了承した。



進化故の不便

(有)共立設備 代表取締役

宮城県管工業協同組合

総務・厚生委員 出野 正弘

私が初めてパソコンを購入したのは平成9（1997）年、「windows95」搭載のパソコンでした。

パソコンと言うと、マニアックでオタクというイメージを持っていた私は、一生縁の無いものだと思っていたのですが、当時の青年部の先輩方が「これからはパソコンを使えないと取り残される」と、勉強会にパソコン教室を取り入れたことでその偏見は見事に払拭されたのでした。今となってはとても有難い助言だったと感謝しております。

インターネットを契約し、待つこと2週間。繋がったネットの世界は想像を遥に越えたことを今でも覚えています。

回線接続は従量制で、一定の契約時間を過ぎると分単位で課金されるというもので、私の場合は1日2時間の契約でした。欲望に駆られあちこち見て回ると、あっという間に2時間は過ぎてしまいます。結果、電話料金が異様に高額になったため、いったい何をしているのかと母親から問い詰められることが度々ありました。

インターネットが急激に普及し始めた2000年代、すでに従量制接続は姿を消しつつあり、定額制が一般的になると、それに伴って回線速度も飛躍的に速くなりました。周辺環境にパソコンの性能が追いつかなくなったことから買い替えを検討したのですが、マニアックでオタクな友人の提案で、自作へと方向転換しました。パーツ類は旧機種からの流用、友人から安価で購入、更には「金はいらない」と言う太っ腹な青年部の後輩達のおかげで、費用は「論吉さん」3枚ほどで仕上がったと記憶しています。

その頃から、インターネットを通して不特定多数のユーザーとファイルを交換する「ファイル共有ソフト」なるものが流行し出したのですが、この交換用に公開するファイルには映画や音楽など著作権侵害やポルノ法に触れた違法行為が多く見られたため、警察による監視システム、「サイバーパトロール」なるものが導入され、逮捕者が多数出たものです。中でも話題になったのが、あるファイル共有ソフトを開発した日本人プログラマーの逮捕で、ソフトウェア製作者の逮捕はプログラマー業界に衝撃を与えました。2023年に公開された映画「Winny」（ウィニー）は、その開発者の逮捕から無罪確定までのストーリーで、私も微力ながら興行収益に貢献してきました。

この投稿文を書いているパソコンは、すでに10年以上経った古いもので、いつ動かなくなってもおかしくない代物です。それとは別に、有事の際の対処と、新しいシステムの操作習得のためにと思い新たに導入したのですが、想像以上に使い勝手の違いに困惑するばかりです。向上心の欠落や自身の機能低下を棚に上げ、思い通りにならない苛立ちを画面に向かって舌打ちをする私をあざ笑うのは、孫のゲーム機として君臨する27年の時を経て進化した「windows11」搭載のパソコンです。

編集歳時記

(2025年新春号No513)

「安全第一主義の徹底」

あけましておめでとうございます。宮城県管工業協同組合並びに組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられ、心よりお慶び申し上げます。

さて、初めて広報誌“みやかん”の執筆依頼を受けることとなりました。話の「ネタ」と、あちらこちらと文献を探っていたところ、令和6年度宮管安全スローガンが目に入りました。“気の緩みしないさせない声掛けを みんなで掛け合う安全確認”。安全確認？→安全書類？→安全第一？様々あるよな～、「現場は安全第一主義」！

ん？ちょっと待てよ！ふと、上下関係が確立していた、自分の少年時代を思い出しました。

「危険予知」は、大人にバレないように、いかにいたずらをするかの計画。

「持ち込み機等の適正管理」は、万が一バレた時に、逃げるために必要な自転車の整備管理。

「作業に則した保護具使用」は、冒険に則した服装等、熱中症対策の帽子（半ズボン厳禁・靴下着用等）

「災害を防ぐ環境づくり」「新規入職者とのコミュニケーション」は、年長者（親分）は配下の者と常にコミュニケーション？（じゃれあい）をとっている。

「健康と環境に配慮した職場」は、年長者（親分）は、常に下級生（子分）を呼びつけ、自分のお仕事を頼みつつ、健康状態を確認する。

「安全衛生教育の強化・受講」は、年長者（親分）は、随時気分次第で下級生（子分）をめる。

「新規入場者教育」「送り出し時教育実施」は、年長者（親分）が新入生へ必ず行う心得説明。

読み替えれば、なんと「安全第一主義の徹底」とは、人の人生観と同じではありませんか！（※人生観は千差万別であります）え～、何が言いたいのかと申しますと、子供のころから自然体で“災害”を未然に防ぎ、安全文化を定着させ、それを後輩に引き継いでいた！ということです。

人を思いやり、密なより良い関係を築き、仲間を大事にできるように、少年時代のピュアな感性を忘れずに、どんな場所においてもチームワークをマネジメントできるようになれば、自ずと安全文化は定着するのでは？と思うのでした。今年もお互い様、「災害ゼロ」を目指し、頑張ってみましょう。

広報委員

石川 渡（株いづみ衛生施設工業）

編集・発行

本年も誌面の充実に努めて参りますので、ご寄稿とご愛読下さいますよう心よりお願い申し上げます。

宮城県管工業協同組合 第47期 広報委員会

委員長	小野修司	(全栄興業(株))	代表取締役社長)
副委員長	大浦明	(株仙塩管工事センター)	代表取締役社長)
委員	佐藤健	(佐静建設(株))	代表取締役社長)
委員	金来和広	(株ユーワ技研)	代表取締役社長)
委員	坪田映二	(坪田工業(株))	代表取締役社長)
委員	大友進	(東水工業(株))	代表取締役社長)
委員	石川渡	(株いづみ衛生施設工業)	代表取締役社長)

専務理事 吉田秀之
理事 堀政信